



## 2020年度未来ファンドおうみ助成事業 の募集が始まります！

- ◆応募受付期間:2019年11月20日(水)~2020年1月10日(金)
- ◆説明会:11月中旬終了 12月中旬
- ◆詳細:ホームページをご覧ください。
- ◆募集案内(募集要項)と申請書の入手方法  
ホームページからダウンロードできます。淡海ネットワークセンター事務所でも受け取れます。

### 募集説明会&助成金申請書の書き方について

近江八幡	12月10日(火)	10:30~12:00	滋賀県立男女共同参画センター
水口	12月10日(火)	14:00~15:30	水口中央公民館
長浜	12月12日(木)	10:30~12:00	長浜まちづくりセンター (さざなみタウン内)
大津	12月14日(土)	10:30~12:00	淡海ネットワークセンター

### 内容

申請書は書きたいことを書く書類ではありません。助成団体からみなさんへの問いかけでもあるので、記載例をよく理解し、記述することが大切です。審査委員からよく出る質問や意見もふまえて、未来ファンドおうみ募集要項説明と合わせて申請書の書き方の説明を行います。

11月には、県内4か所で「助成金の考え方」についての説明会を開催しました。

内容は、助成金は資金の不足を補うものではなく、どう活用するかという視点で考えることが大切だということなどの説明をしました。.....



**未来ファンドおうみ**は、“地域のために何かしたい”という想いを寄付としてお受けし、その想いを基金という形にし、その基金をもとに地域の課題解決に取り組むNPOや市民活動団体を支援しています。

寄付者様には、採択された団体の活動報告や、受益者の喜びの声、また助成事業によって地域や社会にもたらした変化や今後の活動における期待などを、ご報告しています。

寄付者様と市民活動団体の「地域や社会を良くしていきたい」という想いをカタチにしているのが「未来ファンドおうみ」助成事業であります。

## 2020年度の助成事業にご寄付ありがとうございます！

※各基金助成趣旨についての詳細は、助成事業募集案内の9ページよりご覧ください。

**助成趣旨には、寄付者様の想いが込められています。**

(冠基金50音順)

- ・株式会社ナカザワ様：「ナカザワ NEO フレンドシップ基金」  
多文化共生の地域づくりをめざした活動
  - ・元三フード株式会社様：「げんさん食育 NPO 基金」  
障がいのある子どもたちの健やかな成長を食育を通して応援する活動
  - ・生活協同組合コープしが様：「笑顔あふれるコープしが基金」  
地域の身近な問題への取り組みによって、よりよい暮らしにつなげる活動
  - ・積水化成品工業株式会社様：「積水化成品基金」  
市民による環境保全活動の充実をめざし、継続的にこなされる活動
  - ・匿名：「湖国文学活動応援むらさき基金」  
文学を介してこころ豊かな地域づくりをめざしている活動
  - ・匿名：「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」  
びわ湖源流の森の木を主な対象にした様々な取り組みに対する活動
- 「びわ湖の日基金」(50音順)
- 琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる実践活動や調査活動
  - ・循環型社会創造研究所えこら様
  - ・第5回びわ湖チャリティー100km歩行大会実行委員会様
  - ・有限会社豆藤様



## 『おうみ良うなる！元気商品プロジェクト』

このプロジェクトは、未来ファンドおうみへの寄付を募るための一環として取り組んでいます。消費者が寄付つき商品（おうみ良うなる！元気商品）を購入することにより、未来ファンドおうみ「びわ湖の日基金」へ寄付されます。



**参加企業・団体様** (50音順)

- ・一般社団法人比良里山クラブ  
「ヒラペリラ」：比良の里山保全から生まれた無農薬有機肥料にこだわって栽培した比良種赤シソが原材料の商品です。
- ・近江通商株式会社  
「近江里山の薪、炭」：琵琶湖湖畔の里山で丹精込めて作られた近江里山の商品です。
- ・株式会社ロハス余呉  
「山かぶドレッシング」：山の地力を引き出す「焼畑農法」で育てられた在来種の風味豊かな山かぶを手軽にお楽しみいただける商品です。

## 2019年 助成団体の活動

びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金

たかしま市民協働交流センター協議会



採択事業は、「森と人がつながる『たかしまの森へ行こう！プロジェクト』市民によるくつきの森の森林調査と炭窯復活事業」です。森林資源が豊かな高島市において、市民が森林に関心を向け、多様な関わり方ができれば、森林が木材供給の場だけでなく、癒しの場、食材提供の場、観光などビジネスの場として活用される可能性があります。



本事業では、森林資源の活用に関心を持つみなさまに対し、くつきの森で市民による森林調査の実施と、森林の活用の一つとしての「炭焼き窯の復活と活用」についての学びと体験の機会を提供します。これまで森林調査を4回開催しましたが、このことにより市民の森林への関心を深めるきっかけとなっていると感じます。今後は継続参加者を増やし、その中からリーダーの育成を進めることで、朽木地域の森林状況の把握に寄与することをめざしていきます。また炭窯復活については、市内外の参加者と地元のみみなさんとともに作業を進めています。将来的には炭焼き技術の継続と特産品として商品化の可能性も期待できます。



げんさん食育 NPO 基金

認定特定非営利活動法人つどい



採択事業は、「るんるんクッキングパーティー」です。春・夏・冬の長期休暇を利用し、障がいのある子どもたちと健常な子どもたちが一緒に簡単に作れる料理教室を行います。夏休みに2回実施した後、お母さんから「子どもが美味しかったと喜んでいたのでレシピが欲しい」との声もあり、自宅で再度作ることで、親子の関わり合いの時間をとってもらうこともできました。



また、当法人のデイサービスに通っておられる地域の高齢者の方々との交流を深めていくことで、地域との関わりも生まれ、地域の方にも喜ばれています。この事業を実施することで、障がいをもっていることで孤立しがちなお子さんと、放課後児童クラブの幼児・児童と一緒にクッキングを通して一緒に楽しみ、お互いを受け入れ、認め合える存在となってほしいと思っています。また、多くの方々との交流を深め、障がいを障がいと思わない社会をめざしての受け入れ、そして認め合いができる地域となっていくことを願っています。

## 2019年 助成団体の活動

### 笑顔あふれるコープしが基金 異才ネットワーク



採択事業は、「発達障害（児）者及び不登校児の地域理解・啓発の推進」です。本事業では、発達障害児等の自己理解や具体的な支援につながる情報提供を行い、外部講師を招いて「発達障害」「ギフテッド」「不登校」をテーマにしたセミナーを開催します。また8月には、「不登校を知る」を開催し、不登校期間の過ごし方や保護者が段階的な受け入れを示すことで、子どもとの接し方を学ぶことができました。また座談会では、不登校は問題行動ではないことや、家族や周囲の対応の仕方などを示すことができ、不登校児の理解へつながったと考えられます。



社会全体に発達障害への理解が広がることで、発達障害や不登校の子どもたち、その家族の生きづらさが軽減されること、適切な教育の機会を確保し、個々に合わせた就労につなげていくこと、また孤立している発達障害児等を抱える家族が、地域の中で支え合いながら生活できる地域社会づくりを目指しています。

### びわ湖の日基金

### 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会



採択事業は、「奥びわ湖・山門水源の森の台風21号による倒木処理と林床整備」です。本事業では、風倒木で生育阻害されているユキバタツバキの林床整備と観察コース沿いの風倒木整備を行います。ドローン撮影によって、風倒木の状況を把握し、倒木処理を行いユキバタツバキ（希少種）の生育環境が改善しました。また観察コースを整備したことで、100名を超える「ユキバタツバキ現地交流会」では好評を得ました。



処理した風倒木については、玉切り後薪割りをし、チップに加工後、コース整備材として再利用することとしています。この活動で、多くの人員が必要なためボランティアや研修を募集するパンフレットを作成し、広く関係団体に配布し協力をお願いしたいと思います。学術的にも重要なユキバタツバキの種を、風倒木を取り除くことで順調に生育させることができ、観察コース沿いの整備によって、来訪者の森に対する好感度を増すことができると考えています。



### お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）

TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442、e-mail:office@ohmi-net.com